

初めての 滝沢農場 公開



馬術部による乗馬体験



シクラメンの販売



ジャージー牛の肉の販売

寒冷フィールドサイエンス教育研究センター 坂本甚五郎

滝沢農場は学生への農業実習や教育研究のフィールドとして、また、親子科学体験教室などの地域貢献を行ってきました。大学の地域貢献の役割が一層重要とされている今、初めての試みで多くの不安を抱えながら「食と農～滝沢農場生産物にこだわって」をテーマに、滝沢農場の一般公開を行いました。この農場公開は新米や豆腐などのほか、りんごについては摘み取りながら試食していただくために、滝沢農場の生産物が最も多い、11月14日に行いました。初めての農場公開と天候にも恵まれたこともあって、1400名を越える来場者がありました。いずれの試食品や販売品も滝沢農場の生産物とその加工食品で、新米や古代米、新豆で作った豆腐、りんごの試食、ジャージー牛乳の試飲やヨーグルトの試食など、野菜や花の販売も行いました。さらに放牧主体で滝沢農場産飼料と国産飼料だけで飼養されているジャージー牛の肉の販売も行いましたが、とても美味しいと高い評価を得ま

した。馬術部による乗馬体験や子牛との触れ合いコーナー、大型農業機械への試乗などは子供達の人気を集めました。今回の農場公開においていただいた方々のなかには、りんごの収穫体験、販売品の購入、試食などをしながら、家族で新鮮な食物を堪能しながら農業や食物について考えていただけたと思います。また、大学農場に新しい技術等を求めて来られた方もおりましたので、来年度は相談コーナーの開設を検討したいと思います。アンケートには感謝と慰労の言葉が多く書かれておりましたし、建設的な提案が数多く寄せられました。新しい課題やこれからの方向を探る上で、とても意義のある行事であったと考えています。また、多数の来場者を36名の学生ボランティアに支えられて円滑に対応することができ、盛況のもとに終わることが出来ました。

教育
トピックス

佐川了講師が第1回全国大学農場教育賞受賞(平成16年度)

寒冷フィールドサイエンス教育研究センター 星野次汪

佐川了講師は昭和60年から農学部附属滝沢農場に勤務し、学生の実習を担当しながら農場の管理運営のほか、地域貢献に努力してきた功績が認められ、第1回全国大学農場教育賞を受賞した。

主な業績は実習教育への熱意と創意工夫が挙げられる。平成14年度に農場が寒冷フィールドサイエンス教育研究センターに改組されたのを機に、農学部1年次学生に「総合フィールド科学実習」(230名、週1回)を開講し、作物栽培・管理の指導を行い、収穫の喜びを体験させ、農学の目的意識を醸成している。さらに、2年次学生には、田植え、除草、稲刈り、米の食味試験、リンゴの真冬の剪定、摘花、摘果、収穫、ブルーベリーの収穫、ジャム加工、大豆の播種、収穫、味噌作りなど、プレハーベストからポストハーベストまで一貫した指導をしている。3年次学生の夏季特別宿泊実習では寝食を共に、現場感覚に優れた学生の育成に努力している。学生の実習への高い評価に満足す

ることなく、毎年実習カリキュラムに創意工夫を加えている。地域貢献として、平成3年から開かれた大学の先鞭ともなる市民向け「農業体験教室」や幼稚園、養護学校などへの実習協力を行っている。

同氏の長い間の貢献が認められたことは、職場を同じくする者として大きな誇りである。



田植えの指導をする佐川講師

農業改良普及員のためのプロジェクト研修

寒冷フィールドサイエンス教育研究センター 星野次汪

農林水産省経営局では農業改良普及職員を対象とした「平成16年度革新的農業技術習得研修事業」を企画した。岩手大学では寒冷フィールドサイエンス教育研究センターが中心となって、全国の農業改良普及職員を対象とした「高度先進技術研修」(平成16年9月6~8日)と地域の農業改良普及職員を対象とした「プロジェクト研修」を行なった。「プロジェクト研修」は、「水田農業改革に伴う集落型経営の育成方法」について、岩手県4名、青森県1名、山形県1名の6名の改良普及員は、6月から月1回のペースで11月まで7回行った。

研修をより実践的にするために、当大学農学部の木村伸男先生が、毎回レポートを課して次回に報告させ、そのレポートを基に相互討論を行い、問題意識をより先鋭化していく手法で、研修を行った。また、研修生の担当地域に研修生が全員で出向き、集落営農実践者との現地討論を行った。最終日には、研修生が本研修で学んだ内容と担当現地での成果を発表した。これらの成果は研修テキストと研修レポートとしてまとめられた。



参加研修生とスタッフ

いわて農業法人ビジネススクール開校

寒冷フィールドサイエンス教育研究センター 高橋ちえ子

積極的な経営展開を目指し、法人化した農業経営を一層、充実・強化することを目的として、岩手大学農学部、岩手県農業会議および岩手県農業法人協会の3者が協力し、「いわて農業法人ビジネススクール」を開校致しました。

本年度は21名の入学者を迎え、11月4日~2月8日までの期間に5回の講義(I・II)を行いました。

全員が単位を取得し、修了証書を得ることができました。

上・下流-ムラとマチの連携

寒冷フィールドサイエンス教育研究センター

10月16日に室根村曲ろく・ふれあいシンポジウムを行なった。基調報告では展した様々な連携が評価されたが、そ
たり、新たな発展に導く回路について
ついて、今後の課題として指摘された
育成してきた森林資源がマーケットを
遇、健全な育成林も必ずしも安定的な
と等の問題が出された。連携と交流が
与するためには、かつて農山村が都市
つまりモノを通じた連携という点、物
と都市という所にもう一度たちがえる

研究
トピックス

フォーラム「岩泉町の雑穀栽培技術の特徴と地域の食文化」

寒冷フィールドサイエンス教育研究センター 星野次汪

第2分野滝沢農場では、ヒエ、アワ、キビなどの雑穀の栽培技術と品種改良に取り組んでいる。各地に伝承されている遺伝資源や古来からの栽培技術などについて、さんりく基金の資金援助を得て、調査研究を行った。また、学生有志が岩手スローフード協会主催の「雑穀栽培体験」に参加し、播種、除草、防鳥網張り、脱穀作業体験を行い、体験後に雑穀の伝統料理をご馳走になりながら地元の方々と交流を深めた。これまでの取り組みに協力してくださった方々に成果を還元するために、標記のフォーラムを平成16年12月4日に岩泉町大川地区で開催した。参加者は87歳から21歳までの50名の地区住民と岩手大学の佐川了、武田純一、星野次汪教員、修士1年斉藤雅憲、農学部3年次鎌田拓也、阿部正直君が参加し、講演・成果発表を行った。コーヒブレイクには新作料理のアワードーナッツ、講演後には5種類の雑穀ご飯の食味試験を行い、雑穀

談義に花を咲かせた。このフォーラムは冊子としてまとめられ、関係者に配布された。



雑穀料理の食味試験

リンゴ‘はるか’の試食会

寒冷フィールドサイエンス教育研究センター 渡邊 学

11月14日に行なわれた滝沢農場の一般公開で当農場で育成したリンゴ‘はるか’の試食を行なったところ大変好評であった。そこで、‘はるか’の普及の可能性を探るため、一般公開の来場者でアンケートに回答いただいた方々から30名にモニターとして依頼し、試食会を企画した。

試食会は2月1日に学生宿舎において行なわれた。最初に‘はるか’の来歴を説明し、その後、モニターには当農場で生産した‘ふじ’と‘はるか’を比較しながら試食と食味調査を行なって頂いた。その結果、‘はるか’は果肉の硬さと甘味については‘ふじ’よりも評価が高く、果汁、香りおよび総合的な食味についても‘ふじ’より良い評価を頂いた。試食後の感想として、‘はるか’について「とても甘い」、「歯ざわりが良い」、「店頭で購入したい」という意見が多く聞かれた。‘はるか’は小玉であり、外観を良好に維持するために袋掛け栽培を行なう必要がある等、栽培上の問題点もいくつかあるが、今回の試食会で消費者には好評であることが明らかにされ、今後の‘はるか’の普及に対する期待が高まった。なお、当日2社のTV局から取材があった。



経営戦略のためのマネジメントゲーム

連携

寒冷フィールドサイエンス教育研究センター長 岡田秀二

センターにおいて「上・下流連携」シ、室根村と唐桑町漁民との連携から発れらるが、地域の経済の仕組みを拡大しは、もうひとつ歩みが見えないことに。また、シンポジウムでは、これまで捉えようとする段階にきて病虫害に遭市場とのつながりを見出せずにいるここうした地域問題の解決に具体的に寄部や下流部と連携していたその内容、質循環の回路としての上・下流、農村こと的重要性が指摘された。



パネリストとコーディネーター



リンゴ‘はるか’

● 地域への貢献の展開 (平成16年度)

● 職業的専門家対象

森林・林技術者のための青少年森林教育スキルアッププログラム	H16年	6月～11月(延べ7回)
水田農業改革に伴う集落型経営体の育成方法について	H16年	5月17日(月)～5月20日(木)
畜産新技術活用現地検討会	H16年	6月17日(木)
いわて農業者トップスクール	H16年	6月23日(水)～1月26日(水)
森林環境教育のワークショップ in 岩手	H16年	7月26日(月)～7月28日(水)
御所ダム水源地見学ツアー	H16年	7月27日(火)
水田農業改革に伴う集落型経営体の育成と管理手法について	H16年	9月6日(月)～9月8日(水)
外国人受託研修員研修	H16年	10月4日(月)～7月4日(木)
小中学校における森林学習の指導者養成研修	H16年	11月26日(金)

● 一般市民・児童生徒対象

第51回フィールドセミナー「総合的学習における森林学習8」	H16年	5月21日(金)
イーハトーブ森と家づくりフォーラム(森林編)	H16年	5月23日(日)
第52回フィールドセミナー「総合的学習における森林学習9」	H16年	5月27日(木)
第53回フィールドセミナー「森林保全にかかわる市民団体との交流」	H16年	6月12日(土)～6月13日(日)
イーハトーブ森と家づくりフォーラム(製材編)	H16年	7月4日(日)
第54回フィールドセミナー「総合的学習における森林学習10」	H16年	7月6日(火)
イーハトーブ森と家づくりフォーラム(住宅編)	H16年	9月5日(日)
上・下流ームラとマチの連携	H16年	10月16日(土)
フィールド科学体験教室ー収穫を科学するー	H16年	10月9日(土)
森林ボランティアシンポジウムーみんなで進めよう!いわての里の森林づくりー	H16年	11月6日(土)
イーハトーブ森と家づくりフォーラム(総集編)	H16年	11月7日(日)
田野畑村産業実践大学公開講座	H16年	11月26日(金)～11月27日(土)
公開シンポジウム「大学と地域・自治体連携」	H17年	2月28日(月)
第55回フィールドセミナー「かんじきをはいて冬の森を歩こう」	H17年	3月20日(日)

● センター開放的事業

不来方祭におけるセンター産農林産物販売	H16年	10月23日(土)～10月24日(日)
滝沢農場一般公開	H16年	11月14日(日)